

寒の内に産んだ卵を「寒卵（かんだまご）」といいます。「寒卵を食べるとその年はお金に困らない」といういわれがあり、特にパワーがあるとされるのは大寒の卵。風水でも大寒の卵を食べると金運アップ、幸運に恵まれるといわれています。滋養がある寒卵は産卵数が少ないこともあり、古くから縁起物だったようです。

今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【デジタル証券】

ブロックチェーン（分散型台帳）などの技術を活用して電子的に発行された有価証券のこと。これまで企業は資金調達のために株式などの有価証券を発行していたが、デジタル証券を用いた資金調達「STO（セキュリティー・トークン・オフリング）」では小口の資金調達が迅速に行える利点がある。かつて仮想通貨技術を使用した資金調達では詐欺的な案件も見られたため、安全性と信頼性の確保を目指す業界団体も設立された。

知っとこ！「税務のマメ知識」

【共働き世帯に効果的な節税方法とは】

「小学生の子ども1人と夫婦の3人で暮らしています。共働きですが、子どもが大学に進学するまでに上手に貯めていけたらと思っています。できれば税金の負担を軽くしたいのですが、何か良い方法はあるでしょうか」という質問がありました。最初に節税の基本について2つご紹介します。1つ目は「所得控除」と「税額控除」です。所得控除は税金を算出する前の所得を下げる方法です。一方、税額控除は算出された所得税から税金そのものを控除する方法です。そして2つ目は収入の多い人から優先して所得を減らすという方法です。所得税は所得に税率を掛けて算出されますが、日本の課税制度では所得が高ければ高いほど税率は上がります。そのためより節税になる方法としては、夫婦のうち収入の多いほうから先に所得を下げるのが得策です。上記のような点から共働き世帯に効果的な節税方法としては「住宅ローンを夫婦で活用する」「医療費控除を受ける」などが代表的でしょう。住宅ローン控除はそれぞれがローンを活用して税額控除を受けることができます。医療費控除は生計を共にしている家族であれば、その世帯の医療費の合計額について所得の高い人がまとめて所得控除を受けるほうが効果的です。この他にも「親を扶養に入れる」など節税方法は多いので上手に活用して将来設計をしましょう。



今を生きる 先人の言葉

生きろ
なすくらいに、
涙が出そうに

フランスの小説家であるアルベール・カミュの言葉。苦しくても歯を食いしばって生きる。感動するまで生きる。それくらい生き抜いてみなければ何も分らない。

トレンドを斬る!

複数の住居が定額で使い放題となるサービスが活発化しています。提供されるのはリノベーションした空き家や別荘で、首都

圏郊外や地方に一時的に居を移すことで、豊かな自然や歴史に触れて気分転換になると人気です。働く場所を選ばないフリーランスだけでなく、週末に利用する会社員や子どもがいる家族連れ、定年後の夫婦など自宅以外の多拠点生活を求める人はさまざまです。テレワーク導入企業の拡大を追い風に、働き方改革を基とした住み方改革の幕開けです。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【素早く、短く、ハッキリと】

「新製品の特徴は何ですか？」この質問に対する答えとして、最も相手の興味を引く答えは次のうちどれだと思いますか？

- (1) 使い勝手の良さです
- (2) それはやはり使い勝手の良さだと思います
- (3) 今回の商品は使い勝手の良さを重視しており、もちろん機能性も向上しておりますが、お値段は据え置きでご提供させていただいております



アメリカのある心理学者が学生に行った模擬裁判の実験によると、冗長な話し方の証言より、ひと言で言い切るような短い証言のほうが信頼度が高いという結果でした。つまり人間は、短く、ハッキリとした意見をより強く支持するようです。先ほどの答えを見ると、どれも「使い勝手の良さ」をアピールしている点では同じでも、肝心なのは訴求力の高さです。質問に対して(1)のように素早く、短く、明確に答えると、まずは相手の頭に「使い勝手の良さ」のひと言が刻まれます。料理に例えれば、ベースとなる出汁がほどよくしみこんだ状態。出汁の効いた料理は一口食べた瞬間に「うまい！」と感ずるものです。そのうま味につられて相手が料理に興味を示したら、そこからが調理人の本領発揮です。具体的な使い勝手の良さ、自慢の機能性、据え置き価格などのアピールを存分に行って料理を堪能してもらいましょう。先日、行きつけの飲食店でラーメンを頼んだところ、どうもいつもと味が違う。どうやら出汁を入れ忘れたようでした。顔見知りなので「まあいいか」とテーブルにあったしょうゆやコショウを入れてみたけれど、何をどうしてもぼんやりした味のままで最後まで食べた気のしない夕飯となりました。冗長な話というのは、出汁を入れ忘れたラーメンにしょうゆなどを入れ続けるようなものでしょう。どれだけそれらを入れてもおいしくならないように、長々と話しているうちに何が何だか分からなくなって相手も混乱してしまいます。より詳しく、より多くアピールしたい気持ちを抑えながら、可能な限りまずは即答して相手の支持を得て、その上で交渉を進める人が商売上手なのではないでしょうか。



トナリの

本棚



【小さな習慣】

「毎日2ページこの本を読んでもください」。小さく始めることの重要性を丁寧に述べていて「まずはやってみよう!」という気持ちにさせてくれます。これが2カ月続けば達成!なかなか続かないことを嘆いている人におすすめの一冊です。

元氣と氣づきを提供する

豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話: 03-3988-8820 FAX: 03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>

mail: info@satousigeru.jp